

平成 27 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I類	A事業所のみを有する特定事業者
II類	B事業所を有する特定事業者（III類の事業者を除く）
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 豊島製作所	
所在地	埼玉県東松山市下野本1414	
事業者番号	0516	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	1,714	k L/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	金属製品製造業	
分類番号 (中分類)	24	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	事業内容： 冷間鍛造加工及びプレス加工 電子材料の製造販売 従業員数：169名 資本金：9,900万円	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量(kL)
1500kL未満の事業所の合算		
単独で1500kL以上の事業所		
051601	株式会社豊島製作所	1,714
合計		1,714

(4) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/>	インターネット利用による公表	アドレス	http://www.material-sys.com
<input type="checkbox"/>	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/>	その他		

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 マテリアルズシステム事業部 品質保証部	0493-24-6774	0493-24-6715	
2			
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

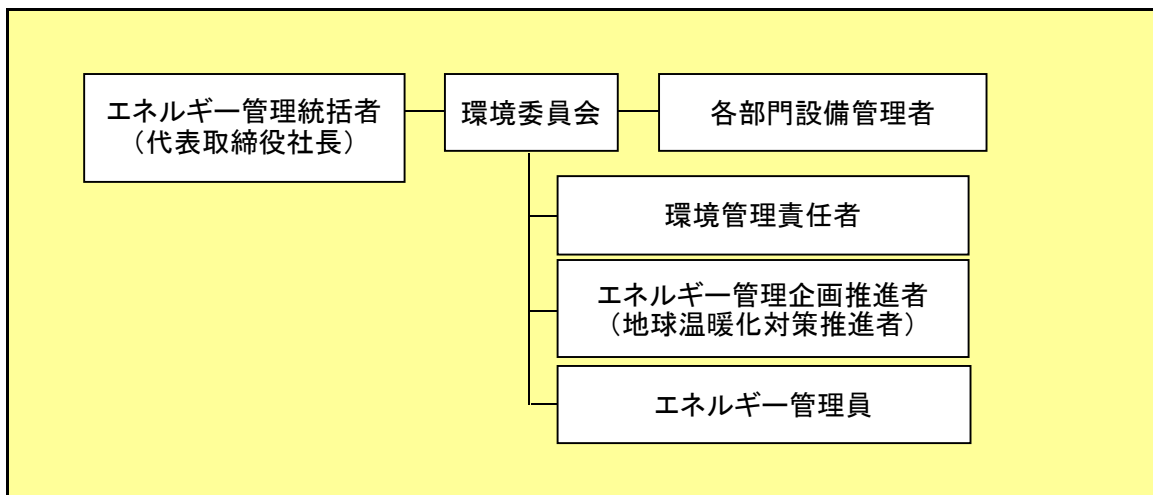
(6) (IV類(任意事業者)のみ記入) 県による公表の可否

県による報告書の公表を希望	
---------------	--

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

株式会社 豊島製作所は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつである事を認識し、全組織をあげて環境負荷の低減に努力します。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度 (2010年度)	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
エネルギー起源CO ₂	2,480	2,666	2,803	2,694	2,791
その他ガス	0	0	0	0	0
温室効果ガスの合計	2,480	2,666	2,803	2,694	2,791

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 27 年度 事業者番号 0516 事業所番号 051601

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	株式会社 豊島製作所					
事業所所在地	市区町村	東松山市				
	字・地番	大字下野本1414番地				
原油換算エネルギー使用量 (kL)	21年度(2009)	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)
	0	1,451	1,579	1,668	1,643	1,714
産業分類名(中分類)	金属製品製造業					
分類番号(中分類)	24					
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容:冷間鍛造加工及びプレス加工、電子材料の製造販売 従業員数:169名				
	延床面積	11427.19				m ²

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

削減計画期間	26	年度	~	26	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、6%削減する。(必要に応じて排出量取引を活用する) 第2計画期間の削減目標 ※基準排出量:4,060t-CO ₂ 基準排出量に対し、H27~H29年度は6%、H30~31年度は13%削減する。(必要に応じて排出量取引を活用する)			
	その他ガス				
エネルギー起源CO ₂ の削減	排出可能上限量 (計画期間合計)	3,094	t-CO ₂		

削減目標の概要	削減目標量 (計画期間合計)	198	t-CO ₂	事業所区分	第2区分
---------	-------------------	-----	-------------------	-------	------

(Ver.2.14) ※2重枠線で囲われる項目は検証対象となるので記入時には注意すること。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

				削減計画期間前		削減計画期間			
				21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂		見込						2,713	2,700
		実績	0	2,480	2,666	2,803	2,694	2,791	
非エネルギー起源CO ₂		見込							
		実績	0	0	0	0	0	0	
メ タ ン		見込							
		実績	0	0	0	0	0	0	
一 酸 化 二 窒 素		見込							
		実績	0	0	0	0	0	0	
ハイドロフルオロカーボン		見込							
		実績	0	0	0	0	0	0	
パーフルオロカーボン		見込							
		実績	0	0	0	0	0	0	
六 ぶ っ 化 い お う		見込							
		実績	0	0	0	0	0	0	
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		見込		0	0	0	2,713	2,700	
		実績	0	2,480	2,666	2,803	2,694	2,791	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

					削減計画期間前		削減計画期間			
					21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位			見込							
			実績							
活 動 規 模 の 指 標	○	生産量 (単位)	t/年							
	○	出荷額 (単位)	百万円/年							
	○	従業員数 (単位)	人							
	●	床面積 (単位)	m ²							
	○	()								

4 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量の算定方法

過去の実績排出量の平均値	基準年度		標準的ではない年度	
排出標準原単位を用いる方法	延床面積	11427.19	m ²	
基準排出量 (上記の方法で算定したもの)		3,292	t-CO ₂ /年	

基準排出量検証	基準年度検証実施済
---------	-----------

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更理由		変更量	
変更年度		変更理由		変更量	
変更年度		変更理由		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
目標削減率	6%

(4) 削減計画期間

26	年度から	26	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		23年度	24年度	25年度	26年度	削減計画 期間合計
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)				3,292	3,292
	トップレベル認定					
	目標削減率(B)	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	
	排出上限量 (C = ΣA-D)					3,094
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))					198
実 績	エネルギー起源CO ₂ 排出量(E)				2,791	2,791
	排出削減量 (F = A - E)				501	501

5 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

6 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

7 過年度における温室効果ガスの推移

別紙3号

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

9 目標達成に係る措置(その他ガス排出量の削減及び排出量取引を含む。)の計画及び実施状況

別紙5号

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

株式会社 豊島製作所

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	環境委員会(月1回)で省エネ活動を推進	平成17年度～	
2	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	エネルギーの毎月の使用量を把握し、エネルギー消費原単位を算出	平成25年度～	
3	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	A重油仕様の金属なまし炉をLPG使用設備に更新	平成25年度～	
4	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	A重油仕様のボンデ工程ボイラーをLPG使用設備に更新	平成25年度～	
5	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	ボンデ工程ボイラー配管へのスチームトラップ取付	平成25年度～	
6	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	ボンデ工程ボイラー温水戻り排水水の再利用	平成25年度～	
7	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	ホットプレス装置のチラーを高効率装置に更新	平成25年度～	
8	330200	空調調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備を高効率設備に更新	平成25年度～	
9	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	空冷式コンプレッサーの省エネ機導入と台数削減及び工場エアラインの見直し改善	平成25年度～	
10	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	工場水銀灯のLED照明化	平成27年度～	
11						
12						
13						
14						
15						

事業所番号	051601
-------	--------

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

C事業所

株式会社 豊島製作所

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称			
		大区分			

日本工業規格A列4番

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

(1) 温室効果ガス排出量の推移

株式会社 豊島製作所

CO₂換算 (t-CO₂)

		14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基 準 年 度													○	
燃料等使用量の原油換算量 (kL)		0	0	0	0	0	0	0	0	1,451	1,579	1,668	1,643	1,714
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂		0	0	0	0	0	0	0	0	2,480	2,666	2,803	2,694	2,791
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メ タ ン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一 酸 化 二 窒 素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイドロフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パーフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	六 ふ っ 化 い お う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	2,480	2,666	2,803	2,694	2,791

(2) 温室効果ガス排出量原単位(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

			14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位															
活 動 規 模 の 指 標	○	生産量 (単位)	t/年							0	0	0	0	0	0
	○	出荷額 (単位)	百万円/年							0	0	0	0	0	0
	○	従業員数 (単位)	人							0	0	0	0	0	0
	●	床面積 (単位)	m ²							0	0	0	0	0	0
	○									0	0	0	0	0	0

別紙4号 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

C事業所

(※希望者のみ記載)

株式会社 豊島製作所

自由記述欄

1. 環境マネジメントシステムの認証取得

2005年10月に国内の環境マネジメントシステム規格KES(ステップ2)を取得し、省エネルギー、廃棄物排出量の低減など、環境負荷の低減に取り組んでいます。

2. 彩の国ロードサポートへの参加

2007年より彩の国ロードサポートに参加し、月1回、当社工場周辺の国道254号線歩道部分の清掃活動を行い、地域の環境美化と従業員の環境意識の向上に取り組んでいます。